

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年3月31日

宮崎市長 清山知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字浮田3000-1  
名 称 生目地区振興会  
代表者の氏名 会長 長友一生  
電話番号 48-1201

令和6年5月21日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書又は収支決算見込書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) 積立金管理状況報告書
- (ホ) その他

## 令和6年度 事業実施報告・収支決算書

## 生目地域

## 生目地区振興会

## 1 総括

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなる中、まちづくり事業の取り組みについては、概ね順調で計画どおり実施できました。ただ、まちづくりのメンバーは旧態依然として、高齢者が中心であり、会員の増加は厳しい状況にあります。今後のまちづくり会員の拡大について、何らかの対応が急務となっている。

## 2 収支決算

## (1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	2,960,000	2,960,000	0	
繰越金	998,846	998,846	0	
自己資金	568,022	649,062	81,040	
合計	4,526,868	4,607,908	81,040	

## (2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域防災事業	15年目	382,400	316,042	▲ 66,358	
〃	生目っ子見守り事業	15年目	296,000	238,130	▲ 57,870	
〃	防犯パトロール事業	15年目	437,700	418,978	▲ 18,722	
〃	有害鳥獣被害防止事業	13年目	56,000	49,280	▲ 6,720	
福	居場所づくり事業	6年目	147,300	46,612	▲ 100,688	
〃	レクリエーション大会事業	10年目	172,500	47,118	▲ 125,382	
環	自然と環境を守る事業	14年目	427,800	388,406	▲ 39,394	
再	半びどん顕彰事業	13年目	96,000	55,547	▲ 40,453	
〃	生目音頭保存事業	13年目	356,500	168,820	▲ 187,680	
伝	里神楽事業	13年目	190,000	134,187	▲ 55,813	
〃	文化財広報活動事業	13年目	211,000	142,146	▲ 68,854	
他	広報運営事業	14年目	1,753,668	1,612,250	▲ 141,418	
	繰越金			990,392		
	合計		4,526,868	4,607,908	81,040	

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	地域防災事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。</p>														
目的 (期待される効果)	防災訓練等を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) 図上訓練 会 場：生目地区交流センター 多目的ホール 実施時期：6月9日 内 容：図上訓練 参加人数：86人</p> <p>(2) 総合防災訓練事前研修 会 場：生目地区交流センター 多目的ホール 実施時期：8月25日 内 容：ロープワーク、簡易担架、心肺蘇生(AED)、防災スリッパ 参加人数：95人</p> <p>(3) 総合防災訓練 会 場：生目地区交流センター、各自治公民館 実施時期：9月1日 参加人数：374人</p> <p>内 容：情報伝達、各地区での防災訓練</p> <p>(4) 生目中学校防災学習の支援 会 場：生目中学校体育館 実施時期：10月4日 参加人数：206人 内 容：図上訓練 他</p>														
事業費	316,042円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>684人</td> <td>1,006人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>77人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>761人</td> <td>1,068人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	684人	1,006人	スタッフ	77人	62人	合 計	761人	1,068人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	684人	1,006人													
スタッフ	77人	62人													
合 計	761人	1,068人													
住民の声 (アンケートの結果等)	特になし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	平成17年に水害を経験していることから、ニーズは高い。自治会長会で意見交換。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	A	A	生目中中学校一年生と職員の若い世代が参加。		⑥課題解決への作用	B	B	将来を担う若い世代が毎年防災研修を受講することは、生目の防災についての課題解決に大いに寄与する。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会からの要望を受け取り組んでいる事業である。		⑦住民の満足度	B	B	特になし	
	④各種団体との連携	A	A	自主防災隊 生目地域センター SVC生目 生目地区防災士	事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>								
		特になし								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> 生目中だけでなく、生目南中でも防災図上訓練を行った方がよい。				対応	未・済			
		<意見への対応> 学校の防災図上訓練は生目中の学校行事であり学校側の要請により実施。								
地域協議会からの意見への対応		<意見への対応>				対応	未・済			
		<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### 令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	生目っ子見守り事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>3. 地域の安心安全づくり</p> <p>◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組</p> <p>自分たちの命は自分たちで守る・・・自助</p> <p>地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助</p> <p>防災意識の向上を図り、活動を展開する。</p>														
目的 (期待される効果)	生目っ子見守り事業を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) 児童の登下校時の見守りパトロール活動</p> <p>実施時期：学校休業日を除く毎週月～金曜日</p> <p>7:10～8:00 15:00～17:00</p> <p>内 容：登下校時の見守り、徒歩・自転車での地域のパトロール</p> <p>参加人数：見守り隊 156人</p> <p>(2) 見守り隊員の講習会</p> <p>実施時期：2月28日</p> <p>内 容：見守り活動中の安全対策、声かけ事案についての講習</p> <p>参加人数：38人</p> <p>(3) 見守り用具の整備</p> <p>内容：交通安全旗等の補充</p>														
事業費	238,130円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>9,600人</td> <td>9,600人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9,600人</td> <td>9,600人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	9,600人	9,600人	スタッフ			合 計	9,600人	9,600人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	9,600人	9,600人													
スタッフ															
合 計	9,600人	9,600人													
住民の声 (アンケートの結果等)	保護者や学校から感謝の声が寄せられる。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
		本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各地区の実情に合った組織、運営にするため、自治会が中心となっていて、自治会定例会などで意見を集約。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	B	B	活動の時間帯が親世代ではなかなか難しく、高齢者がほとんどである。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	安心安全なまちづくりを推進するとともに、見守り活動に参加することで子ども達と交流が生まれ、絆づくりにもなっている。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	生目地区を網羅するまちづくりならではの取り組みである。		⑦住民の満足度	A	A	特になし	
	④各種団体との連携	A	B	自治会 学校 PTA さんさんクラブ	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 特になし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> 雨風かかわらず毎朝見守りやパトロールをしていた だく方々にもっと感謝の気持ちを伝えたい。					対応	未・済			
	<意見への対応> 総会時に感謝の集いの状況を報告している。					対応	未・済			
<意見への対応>					対応	未・済				

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	防犯パトロール事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。														
目的 (期待される効果)	防犯パトロール事業を通して、犯罪を未然に防止し、地域の安全を守る。														
事業内容・手段	(1) 防犯パトロールの実施 実施時期：令和6年4月1日～令和7年3月31日 内 容：生目地域自治区を青パト8台でパトロール 1台につき月平均9回 参加人数：延べ891人														
事業費	418,978円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>891人</td> <td>864人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>891人</td> <td>864人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	人	人	スタッフ	891人	864人	合 計	891人	864人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	891人	864人													
合 計	891人	864人													
住民の声 (アンケートの結果等)	犯罪の抑止力になり、心強いとの声が多い。 青パト車を見ると安心感がある。時間帯も合っていてありがたいと感じる。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	学校や保護者、自治会からの要望で事業を立案、推進している。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	B	B	若い隊員を募集しているが、パトロールの時間と仕事の時間が重なりなかなか難しい。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	地域の安全安心づくりにつながる
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	生目地区を網羅するまちづくりならではの取り組みである。			⑦住民の満足度	A	B	多くの住民が感謝している。
	④各種団体との連携	A	B	生目地区社協 生目地区青少協 学校 交番	事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 特になし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・事業報告）>						対応	未・済		
	<意見への対応>							未・済		
<意見への対応>						対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	有害鳥獣被害防止事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎安心安全なまちづくりを目指し、各種の予防活動を行う。														
目的 (期待される効果)	猪や猿などの有害鳥獣による農作物や人への被害を防止し、安心安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	(1) 有害鳥獣についての勉強会 会場：生日地区交流センター 実施時期：7月19日 内容：有害鳥獣についての講演会 参加人数：30人  (2) 有害鳥獣捕獲用罟の購入、管理 会場：生日地区内 実施時期：通年 内容：罟の管理														
事業費	49,280円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>27人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	27人	10人	スタッフ	3人	3人	合計	30人	13人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	27人	10人													
スタッフ	3人	3人													
合計	30人	13人													
住民の声 (アンケートの結果等)	有害鳥獣被害防止の啓発活動で「猿」が少なくなった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	有害鳥獣の被害をゼロにするのが住民の願いである。	#	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシの配布（保育所、公民館、学校、公立公民館、自治会）、フェイスブック
	②住民の参加	B	B	収穫しない果樹などを放置しないなどの努力をしている。		⑥課題解決への作用	B	B	安心安全なまちづくりにつながった。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会連合会からの要望を受け、取り組んでいる事業である。		⑦住民の満足度	B	B	猿の被害が少なくなり感謝されている。	
	④各種団体との連携	B	B	有害鳥獣被害対策組合 自治会連合会		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> イノシシ対策にはいつも悩まされているので、予算が許す限りわなは必要だと思う。購入した罾の稼働実績や効果、課題の分析が必要。本事業の重要性をアピールして欲しい。 <意見への対応> 地域センターに事務局のある有害鳥獣被害対策組合とも対応を協議していきたい。				対応		未・済			
	<意見への対応>				対応		未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	居場所づくり事業	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎子供から高齢者、要支援者等を地域ぐるみで支える福祉のまちづくり														
目的 (期待される効果)	高齢者の介護予防や引きこもり、孤独死の予防。 子どもから高齢者まで世代を超えた交流や地域コミュニティの確立。														
事業内容・手段	(1) えんがわサロンの実施 会場：①有田ふれあい館 ②坪根集会所 ③下小松自治公民館 ④跡江自治公民館 実施時期：①7月7日 ②7月19日 ③12月19日 ④2月1日 内容：世代交流や高齢者の健康・生きがいづくり 参加人数：①41人 ②20人 ③25人 ④29人														
事業費	46,612円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>110人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>115人</td> <td>94人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	110人	89人	スタッフ	5人	5人	合計	115人	94人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	110人	89人													
スタッフ	5人	5人													
合計	115人	94人													
住民の声 (アンケートの結果等)	特になし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	2025年問題、高齢化率の高さなどニーズは高い。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	B	A	事業内容変更後の説明不足により、開催地区が少なく参加者も少なかった。		⑥課題解決への作用	B	B	高齢者、要支援者を地域ぐるみで支える福祉のまちづくりの課題解決につながる。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり推進委員会ならではの取り組みである。		⑦住民の満足度	B	B	住民が満足する状態になるにはもう少し時間がかかる。	
	④各種団体との連携	A	A	生目地区社協 生目・小松台地区地域包括支援センター 宮崎市社協 さんさんクラブ		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等>									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> 地区によって取り組み方に差がある。カラーリングなどを活用してはどうか。 子ども食堂などを取り入れて欲しい。 生目交流センターを利用し、固定の居場所づくりを試みる。  <意見への対応> 令和7年度にボッチャの体験会と地域センターの高齢者ふれあい室でえんがわサロンを計画している。				対応	未・済				
	<意見への対応>				対応	未・済				

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	レクリエーション大会事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎地域におけるコミュニティ保持 ◎地域間・世代間の交流を深め、さらなる絆づくりに取り組む。														
目的 (期待される効果)	地域の絆づくりを推進する。														
事業内容・手段	内 容：①ミニバレーボール大会 ②グラウンドゴルフ大会 ③ニュースポーツ大会 実施時期：①10月6日 ②11月14日 ④1月23日 会 場：①生目地区交流センター多目的ホール ②生目古墳群史跡公園 ③生目地区交流センター多目的ホール 参加人数：①32人 ②116人 ③23人														
事業費	47,118円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>153人</td> <td>278人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>18人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>171人</td> <td>309人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	153人	278人	スタッフ	18人	31人	合 計	171人	309人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	153人	278人													
スタッフ	18人	31人													
合 計	171人	309人													
住民の声 (アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	地域からの要望が直接寄せられる。	#	広報	⑤事業の周知	A	A	広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	A	B	特になし		⑥課題解決への作用	A	A	絆づくりにつながる。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各団体からの要望を受け取り組んでいる事業である。		⑦住民の満足度	B	B		
	④各種団体との連携	A	A	生目地区さんさんクラブ連合会	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> 新たなゲームを導入する。						対応	未・済		
	<意見への対応> 令和7年度に風船バレーボール大会を計画している。						対応	未・済		
	<意見への対応>						対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	自然と環境を守る事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 地域の活力づくり</p> <p>◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり</p>														
目的 (期待される効果)	<p>里山・大谷川遊歩道ウオーキング大会やホテル観察会を通して自然環境保護に対する理解を深める。</p> <p>自然のすばらしさを地区内外に発信し、地域の活力づくりにつなげる。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) ホテル観賞会 会 場：宮の下川上流 実施時期：5月11日(土) 内 容：ホテルの生態学習と観賞 参加人数：62名</p> <p>(2) 里山遊歩道整備 会 場：①里山遊歩道 実施時期：①2月2日 ②7月21日、11月5日 内 容：草刈り作業、遊歩道整備 参加人数：①15人 ②延べ23人</p> <p>(3) 石塚城址公園の整備 会 場：石塚城址公園 実施時期：4月4日、5月18日、6月25日、7月7日、9月6日、11月5日 12月25日 内 容：除草作業、花の植栽等 参加人数：延べ56人</p> <p>(4) 生目の里山・史跡を巡る里山散策会 会 場：大谷川・里山遊歩道 実施時期：2月16日 内 容：雨天のため現地散策会は中止 参加人数：33人</p> <p>(5) 大谷川環境美化活動 会 場：大谷川流域 実施時期：3月16日 内 容：ゴミ拾い、清掃活動 参加人数：56人</p>														
事業費	388,406円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和 6年度</th> <th>令和 5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>138人</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>107人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>245人</td> <td>193人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和 6年度	令和 5年度	一般参加者	138人	127人	スタッフ	107人	66人	合 計	245人	193人
年 度	令和 6年度	令和 5年度													
一般参加者	138人	127人													
スタッフ	107人	66人													
合 計	245人	193人													
住民の声 (アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業実施後に参加者に意見を聞き、次年度の事業を計画、実施している	#	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ配布 公立公民館に設置 フェイスブック スーパーにチラシ掲示
	②住民の参加	A	A	ホテル観賞では、学校には周知していなかったが、多くの子供たちの参加応募があった。			⑥課題解決への作用	A	A	自然保護の課題解決につながった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	学校や地域の要望を受け、取り組んでいる事業である。		⑦住民の満足度	A	A	ホテル観賞会では、子供たちが初めて見る機会となった。	
	④各種団体との連携	B	B	生目地区自治会連合会		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 特になし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> 蛸観察会が良かった。散策会等で宝探しなど企画してはどうか。予算の拡充を検討する。						対応	未・済		
	<意見への対応> 散策会は、景観を楽しむ企画であること、散策会のコースはため池周辺であり危険でもあるので、宝さがしの企画は困難。							未・済		
<意見への対応>						対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	半ぴどん顕彰事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 地域の活力づくり          ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり</p>														
目的 (期待される効果)	<p>魅力的な生目の「たから」を活かした地域の活力づくりを推進する。          「半ぴどん」の知名度を上げ、地域おこしにつなげる。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 生目小学校学習支援          会場：① 校内学習支援 生目の自然や歴史を3,4年生に講話。          ② 校外学習支援 妙円寺跡石塔群、生目神社で歴史を学ぶ。          実施時期：①11月30日 ②12月5日          参加人数：① 293名 ② 113名</p> <p>(2) 紙芝居の作成          ・紙芝居を紙媒体で5話のうち3話作成した。</p> <p>(3) はんぴどん劇の上演（紙芝居の読み聞かせ）          ・はんぴどん劇団の解散に伴い、「はんぴどん」紙芝居の読み聞かせを行い「はんぴどん」を浸透させた。</p>														
事業費	55,547円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>400人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>406人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	400人		スタッフ	6人	4人	合計	406人	4人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	400人														
スタッフ	6人	4人													
合計	406人	4人													
住民の声（アンケートの結果等）															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項			
	本年度	前年度			本年度	前年度				
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	特になし	#	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	B	A	特になし		⑥課題解決への作用	A	A	「地域活力の低下」の課題解決につながる。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域おこしにはまたとない事業である。	⑦住民の満足度	B	B	特になし		
	④各種団体との連携	B	B	各地区自治会 生目小学校 市教育委員会	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 積極的に、はんびどんマグネットシールをアピールし自動車に貼って走っている。 (計30台程)									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> はんびどん紙芝居DVDを活用し、はんびどん顕彰を頑張りたい。  <意見への対応> はんびどん顕彰は、これまでも様々な方法で実施している。令和6年度からは紙芝居を新たに作成しており、子どもたちへの読み聞かせを行っている。この活動を継続していきたい。						対応	未・済		
	<意見への対応>						対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	生目音頭保存事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎地域間・世代間の交流を深め、さらなる絆づくりに取り組む。														
目的 (期待される効果)	生目音頭の保存・継承を推進する。														
事業内容・手段	(1) 施設や小学校、地域等での生目音頭の指導 参加人数：延べ147名 (2) 「生目ふるさとまつり」での総踊り 会    場：生目古墳群史跡公園 実施時期：10月13日 内    容：生目音頭の継承 参加人数：34人														
事業費	168,820円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>156人</td> <td>118人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>25人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>181人</td> <td>140人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	156人	118人	スタッフ	25人	22人	合 計	181人	140人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	156人	118人													
スタッフ	25人	22人													
合 計	181人	140人													
住民の声 (アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校や地域の要望を受け取り組んでいる。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	A	B	開催機会もおおくなり、全体的に参加者が多くなった。		⑥課題解決への作用	B	B	絆づくり。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	まちづくり推進委員会ならではの事業である。		⑦住民の満足度	B	B	特になし。	
	④各種団体との連携	A	A	小学校 保育園・幼稚園 施設等 地域自治会	事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt; 音源を新しくCDに起こし、保存会メンバーと合同練習を行った。</p>									
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）&gt; 様々な行事に参加していただき、伝承することができていると思う。</p> <p>&lt;意見への対応&gt; 今後も様々な行事に参加していく。</p>					対応	未・済			
	<p>&lt;意見への対応&gt;</p>					対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	里神楽事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり。														
目的 (期待される効果)	伝統芸能である里神楽の保存と継承を推進する。														
事業内容・手段	(1) 神楽開催の広報 本年度は、ようやくコロナ感染症が鎮静化し、全地区(8地区)で開催することができ、久々に「神楽の音」が各地区で響きました。またリーフレットも5地区で作成し、地域への啓発に務めました。														
事業費	134,187円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>不明</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	不明	不明	スタッフ			合 計	人	人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	不明	不明													
スタッフ															
合 計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各集落の伝統芸能である里神楽の保存と継承は住民すべての願いである。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	フェイスブック 広報誌
	②住民の参加	B	B	各地区での開催のため、把握は難しい。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	伝統芸能である里神楽の保存継承は地域の歴史を知り、絆を深め、地域の結束が図れる。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会、神楽保存会の要望を受け、取り組んでいる事業である。		⑦住民の満足度	B	B	/	
	④各種団体との連携	B	B	各自治会 神楽保存会	事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> 年々参加者が減ってきているので、何か対策をとる必要がある。						対応	未・済		
	<意見への対応> 各地域でも対応に苦慮している。方策について関係者と検討していく。							未・済		
<意見への対応>						対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	文化財広報活動事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり。														
目的 (期待される効果)	文化財の掘り起こしと整備、保存。 生目の「たから」を活かした地域の活力づくりを推進する。														
事業内容・手段	(1) 生目史跡ガイド養成講座の開催 会場：生目地区交流センター及び生目神社など各史跡 実施時期：①6月12日 ②7月23日 ③8月20日 ④9月11日 ⑤11月12日 ⑥12月4日 内容：生目の歴史、植物、地質、民話伝承など広く学習し史跡案内ガイドを養成 参加人数：①6人 ②7人 ③7人 ④7人 ⑤8人 ⑥8人  (2) 史跡めぐりウォーキング 会場：生目古墳群、霧島寺跡、はんびどんの墓など跡江周辺 実施時期：12月7日 参加人数：37名  (3) 生目南中学校学習支援 今年度要望なし  (4) 文化財広報活動、史跡案内、ガイドブック作成 史跡案内は本年度はなし、ガイドブックは作成途中														
事業費	142,146円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>63人</td> <td>447人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>80人</td> <td>458人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	63人	447人	スタッフ	17人	11人	合 計	80人	458人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	63人	447人													
スタッフ	17人	11人													
合 計	80人	458人													
住民の声 (アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	終了時にアンケートを取り、次年度の事業を計画・実施している。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	チラシの世帯配布 フェイスブック 広報誌
	②住民の参加	A	A	講座にも散策会にも大勢の人が参加してくれた。		⑥課題解決への作用	A	A	文化財を掘り起こして保存継承することにより、地域の絆づくり、活性化につなげる。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協議会からの要望を受け、取り組んでいる事業である。		⑦住民の満足度	A	A	参加者からとても充実した内容だったと好評だった。	
	④各種団体との連携	A	A	各自治会 学校		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月・事業報告）> SNSを活用しPRをする。小学校への学習支援は地域を知り効果的だと思う。				対応	未・済				
	<意見への対応> フェイスブックを作成してPRしている。小学校の学習支援は、今後も継続して行う。					未・済				
<意見への対応>				対応		未・済				

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	広報運営事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	/														
目的 (期待される効果)	まち推の広報と円滑な運営。														
事業内容・手段	まち推の広報、運営。														
事業費	1,612,250円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者			スタッフ	4人	4人	合計	4人	4人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者															
スタッフ	4人	4人													
合計	4人	4人													
	※事業内容に応じて男女別や年代別データ														
住民の声 (アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				広報誌	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	/	/	該当せず	#	広報	⑤事業の周知	/	/	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	/	/	該当せず		⑥課題解決への作用	/	/	該当せず	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	/	/	該当せず	事業の効果	⑦住民の満足度	/	/	該当せず	
	④各種団体との連携	/	/	該当せず		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 経費の削減に努めた。									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和7年3月事業報告）> SNSを活用し、若者を取り込む必要がある。							対応	未・済	
	<意見への対応> 今後とも、フェイスブックを活用していく。									
<意見への対応>							対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

## 事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	地域防災事業
-----	--------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	316,042	
3	自己資金		
4	合計(A)	316,042	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	34,902	生目中学校図上訓練用地図	17,550
			熱中症対策用飲料代	2,304
			事務用品、訓練用資材	648
			訓練時スタッフ用弁当代 @ 600 × 24 個	14,400
5	役員費	6,140	総合防災訓練事前研修用障害保険料	6,140
6	委託料	275,000	現況図作成及びデータ編集	275,000
10	備品購入費			
11	積立金			
12	合計(B)	316,042		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	生目っ子見守り事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	238,130	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	238,130	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
4	需用費	190,880	横断手旗 @ 700 × 50 本 35,000
			見守り隊ユニホーム(ジャンパー) 30 着 56,200
			ホッカイロ 150名分 47,788
			のぼり旗 @ 434 × 6 本 2,604
			のぼり旗 @ 935 × 50 本 46,750
			お茶代 24 本 1,776
			製本テープ(見守りガイドブック) 762
5	役務費	47,250	ボランティア保険料 @ 350 × 135 名 47,250
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計(B)	238,130	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	防犯パトロール事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	418,978	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	418,978	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳		
4	需用費	418,978	第1 四半期ガソリン代	8台分	140,923
			第2 四半期ガソリン代	8台分	80,707
			第3 四半期ガソリン代	8台分	98,714
			第4 四半期ガソリン代	8台分	58,634
			防犯パトロールマグネット20枚		40,000
5	役員費	0			
9	原材料費	0			
10	備品購入費	0			
11	積立金	0			
12	合計(B)	418,978			

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	有害鳥獣被害防止事業
-----	------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	23,584	
2	繰越金	25,696	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	49,280	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	48,400	くくり罠ハヤブサニュータイプ @ 6,050 × 8個	48,400
5	役務費	880	振込手数料	880
9	原材料費	0		
10	備品購入費			
11	積立金	0		
12	合計(B)	49,280		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	居場所づくり事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	46,612	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	46,612	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
2	報償費	3,000	講師料(跡江地区えんがわサロン) 3,000
4	需用費	39,527	えんがわサロン 有田地区 8,403
			えんがわサロン 細江地区 9,350
			えんがわサロン 下小松地区 11,360
			えんがわサロン 跡江地区 10,414
5	役務費	4,085	傷害保険料 有田地区 1,085
			傷害保険料 細江地区 1,000
			傷害保険料 下小松地区 1,000
			傷害保険料 跡江地区 1,000
7	使用料及び賃借料	0	0
10	備品購入費	0	
12	合計(B)	46,612	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生日地域自治区

生日地区振興会

事業名	レクリエーション大会事業
-----	--------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	45,618	
2	繰越金	0	
3	自己資金	1,500	ミニバレー参加料
4	合計(A)	47,118	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	13,308	ミニバレーボール賞品代 (優勝)	3,240
			ミニバレーボール賞品代 (2位 3位)	4,474
			ボール代	1,639
			ラインテープ代	2,680
			スタッフお茶	1,275
5	役務費	4,660	ミニバレーボール大会傷害保険料	1,000
			グラウンドゴルフ大会傷害保険料	3,000
			振込手数料	660
6	委託料	29,150	グラウンドゴルフ大会テントリース設営撤去	29,150
1 2	合計(B)	47,118		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	自然と環境を守る事業
-----	------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	376,556	
2	繰越金	0	
3	自己資金	11,850	里山散策会参加料
4	合計(A)	388,406	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	110,036	コピー用紙 @ 2585 × 4	10,340
			刈払機替刃代 15枚	33,000
			作業時飲み物代	9,237
			作業時熱中症対策	1,076
			里山遊歩道案内板	30,000
			里山散策完歩賞	21,000
			刈払機混合油代	5,383
5	役務費	28,970	ホテル観賞会傷害保険料	2,000
			除草作業時傷害保険料 4回	24,970
			里山散策会傷害保険料	2,000
6	委託料	246,400	石塚城址公園草刈り業務委託	246,400
7	使用料及び賃借料	3,000	公民館使用料 (ホテル観察)	3,000
1 2	合計(B)	388,406		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	はんぴどん顕彰事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	55,547	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	55,547	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
2	報償費	3,000	生目小オープンスクール講師料	3,000
4	需用費	1,947	白ボール紙四つ切両面白50枚	1,947
5	役務費	1,100	はんぴどん劇団大道具等の処分代	1,100
6	委託料	49,500	はんぴどん既存看板修復	49,500
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計(B)	55,547		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	生目音頭保存事業
-----	----------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	168,820	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	168,820	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	27,170	生目音頭練習時用お茶	3,531
			音楽用CD-R20枚	2,024
			ふるさと祭り弁当・お茶	21,615
5	役務費	11,850	傷害保険料	11,850
7	使用料及び賃借料	129,800	生目ふるさと祭りテント等使用料	129,800
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計(B)	168,820		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	里神楽事業
-----	-------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	134,187	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	134,187	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	134,187	有田地区里神楽両面染紙5色各20枚	2,475
			有田地区神楽用半紙	3,503
			里神楽用こよりひも、半紙7組	26,129
			里神楽用色紙	102,080
5	役務費	0		
9	原材料費	0		
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計(B)	134,187		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	文化財広報活動事業
-----	-----------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	121,946	
2	繰越金	0	
3	自己資金	20,200	カルタ売上げ、ガイド養成講座受講料、史跡めぐり参加料
4	合計(A)	142,146	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
2	報償費	24,000	ガイド養成講座講師料	18,000
			生目小オープンスクール講師料	6,000
3	旅費	0		0
4	需用費	18,146	妙円寺跡石塔群整備作業時弁当	3,500
			コピー用紙2箱	5,170
			書籍「日向國生目神社」	3,000
			史跡めぐりウォーキング参加者飲料水	3,476
			標柱調査時弁当	3,000
5	役務費	1,000	史跡めぐりウォーキング傷害保険料	1,000
6	委託料	99,000	細江城、はんびどんの墓標柱設置	99,000
1 2	合計(B)	142,146		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

## 事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	広報運営事業
-----	--------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	996,738	
2	繰越金	0	
3	自己資金	615,512	預金利息、印刷代他
4	合計(A)	1,612,250	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	手当	255,000	事務局時間外手当 @ 1,000 × 255 時間 255,000
3	旅費	6,600	まちづくり県民の集い 6,600
4	需用費	601,765	ふるさと祭りスマホスタンド作成材料 18,840
			プリンタートナー 38,320
			ファイル他文具代消耗品代 25,321
			コピー用紙 95,450
			朝市のぼり旗 13,750
			朝市弁当お茶代 23,654
			印刷機消耗品代(インク、マスター) 386,430
5	役務費	181,285	はがき・切手代 776
			電話・インターネット通信費 77,317
			はんびどん商標登録手数料等 77,452
			ボランティア活動保険、ふるさと祭り木工作业保険料 25,740
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	567,600	コピー機使用料 @ 47,300 × 12 567,600
1 2	合計(B)	1,612,250	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

生目地域自治区

生目地区振興会

積立金名称	災害時積立金
-------	--------

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	1,000,787	
2	積立額	0	
3	取崩額	0	
4	雑収入	459	預金利息
5	合計	1,001,246	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年3月31日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字浮田3000-1  
名 称 生目地区振興会  
代表者の氏名 会長 長友一生  
電 話 番 号 4 8 - 1 2 0 1

令和6年5月21日付けで交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、  
決算において、990,392円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので  
届け出ます。

添付書類

令和6年度収支決算書

# 令和6年度生目地区振興会（まちづくり推進委員会）への意見書

生目地域自治区地域協議会  
会長 日高 富士美

令和6年度の生目地区振興会（まちづくり推進委員会）の地域まちづくりについては、事業計画及び予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので今後の運営に反映して頂くようお願いします。

## 記

### 1 総括

- 参加者が減少している事業や新規事業に関しては、生目を盛り上げるために他の地域とも協力していく必要がある。

### 2 事業の推進体制

- 若者がもっとまちづくりに携わる機会が増えるとよい。
- 高齢化が進んでいるので、まちづくり推進委員にもっと若い人を参加させ、意見を聞けるようにしてほしい。

### 3 各事業への意見

#### （1）防犯・防災

事業名	意見
地域防災事業	生目中だけではなく、生目南中でも防災図上訓練を行った方がよい。
生目っ子見守り事業	雨風かかわらず毎朝見守りやパトロールをして頂く方々にもっと感謝の気持ちを伝えたい。
防犯パトロール事業	

#### （2）健康福祉

事業名	意見
居場所づくり事業	地区によって取り組み方に差がある。カローリングなどを活用してはどうか。 子供食堂などを取り入れてほしい。輪を広げてほしい。 生目交流センターを利用し、固定の居場所づくりを試みる。
レクリエーション大会事業	新たなゲームを導入する。

### (3) 環境

事業名	意見
自然と環境を守る事業	蛍観察会が良かった。散策会等で宝探しなど企画してはどうか。予算の拡充を検討する。
有害鳥獣被害防止事業	イノシシ対策にはいつも悩まされているので、予算が許す限りわなは必要だと思う。 購入した罠の稼働実績や効果、課題の分析が必要。本事業の重要性をアピールしてほしい。

### (4) 文化

事業名	意見
里神楽事業	年々、参加者が減ってきているので、何か対策をとる必要がある。
文化財広報活動事業	SNS を活用し PR をする。 小学校への学習支援は地域を知り、効果的だと思う。
はんぴどん顕彰事業	はんぴどん紙芝居DVDを活用し、はんぴどん顕彰をがんばって欲しい。

### (5) 総務

事業名	意見
生目音頭保存事業	様々な行事に参加していただき、伝承することができると思う。
広報運営事業	SNS を活用し、若者を取り組む必要がある。

## 4 検討事項

- ・ SNS でアカウントを作成し、活用することで、若者への認知度が上がる。
- ・ 余剰金を妙円寺の整備等に予算は組めないか。
- ・ 自治会加入促進に向けた検討委員会の設置をお願いします。